

263 中央大学代議士招待会

〔法学新報〕第20卷4(230)号 明治43年4月1日

○中央大学代議士招待会 去月十日を以て中央大学に於ては代議士たる学員諸氏の招待会を同倶楽部に開催したり当日は藤田名古屋控訴院長、馬場広島控訴院長も公用出京中にて臨席せられ

午後六時一同宴席に著きしか遠来の珍客多かりければ何れも談話の交換に忙はしく菊池学長も亦演説に食傷せられんとしつある代議士に対しての遠慮よりか挨拶を省略せられ遂に一人の演説者なかりしは珍らしきことにして而かも宴を撤して後も「ウ井スキー」「ビール」の杯を引て談益々興に入り滾々として罄くるなく漸く散会したるは午後十一時を過ぐる頃なりし当日の来賓は稲村辰次郎、花井卓蔵、岡野敬次郎、岡田泰蔵、川島亀夫、加瀬禧逸、横山金太郎、高柳覚太郎、中村啓次郎、卜部喜太郎、東武、斉藤二郎、坂本彌一郎、木下謙次郎、関口安太郎の諸氏にして主人側にては菊池武夫、奥田義人、土方寧、山田喜之助、金井延、原嘉道、石山彌平、森本邦次郎、佐藤正之の諸氏なりし

同十八日午後五時より代議士諸氏は中央大学理事者の招待会を日本橋亀島町階楽園に開催せらるる当日は第二十六議會閉会に近

つき居りて議事の多端なるにも拘はらず出席者頗る多く一同著席して献酬を始むるや坂本彌一郎氏は御挨拶に代へてとの前置にて一場の珍談を提供せられ満場為めに頤を解き次て諸氏の奇説異聞続出し笑声湧くか如く主客歓を罄くして散会したり当日の来賓は菊池学長を始め山田喜之助、伊藤悌治、石山彌平、三宅碩夫、佐藤正之の諸氏にして主人側にては稲田辰次郎、花井卓蔵、大熊三之助、川島亀夫、加瀬禧逸、横山金太郎、高柳覚太郎、田辺熊一、中村啓次郎、卜部喜太郎、斉藤二郎、坂本彌一郎、佐野春五、柵瀬軍之佐、木下謙次郎、関口安太郎、須藤嘉吉の諸氏なりし